

2022(令和4)年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告

1) 2022(令和4)年度東京都助産師会定時社員総会 報告

日 時：2022(令和4)年6月18日(土)13:00～13:47

場 所：公益財団法人 東京都助産師会館 5階講堂

社員総数：1099名

出席社員：670名(出席60名、委任状610名)

定款第18条2項に基づき出席社員の中から、議長、橋本初江氏、副議長、今村理恵子氏、岩田敦子氏が選出された。議長より、出席正会員(社員)および委任状数を報告し、正会員数の2分の1の出席をみたので議案の議決に必要な定足数を充足していることが告げられ、議案の審議に入った。

<監査報告>

監事の三島典子より、本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査し、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことが報告された。

<決議事項>

1. 第1号議案 2021年度決算(計算書類)報告 承認の件

財務理事の横川峰子より資料に基づいて説明されたあと原案どおり可決された。

2. 第2号議案 理事13名選任の件

役員選任管理委員会委員長の井出陽子氏より、現理事13名が任期満了、新たな理事13名の選任について説明があり1名ずつ紹介した。各理事候補が自己紹介と抱負を語った。その後、議長が定款19条3項に基づき理事候補1名ずつ採決を行い、13名全員が承認された。

3. 第3号議案 監事2名選任の件

役員選任管理委員会委員長の井出陽子氏より、現監事2名が任期満了、新たに監事2名の選任について説明があり、1名ずつ紹介した。各監事候補が自己紹介と抱負を語った。その後、議長が定款19条3項に基づき監事候補1名ずつ採決を行い、2名全員が承認された。

2) 2022年度事業報告

(1) 理事会・運営会議(すべてWEB開催)

- ・新型コロナウイルス感染症のため、理事会、運営会議・地区分会長会議をすべてオンラインにて開催。
- ・昨年度に引き続き東京都委託事業として「オンライン助産師相談」「コロナ陽性妊婦自宅療養健康観察事業」「助産師電話・訪問相談」などが実施された。
- ・布製マスクをガーゼハンカチにリメイクし、東京都助産師会の相談事業のお知らせと共に妊婦に配布。
- ・理事会では東京都助産師会ビジョンについて検討された。

開催日	内 容
第1回理事会 2022年6月18日	<審議事項> 1.代表理事選定の件 2.役付理事選定の件 3.委員会委員選定の件 4.(一社)日本フオルック看護学会後援依頼の件 5.第30回関東甲信越性教育研究大会後援依頼の件
第2回理事会 2022年7月22日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業(オンライン相談・助産師相談・コロナ陽性妊婦健康観察・寄り添い型) <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.各委員会委員選定の件 3.2023年要望書 4.マタニティフェスティバル開催方法 5.日本助産師会総会代議員・予備代議員 6.地区研修会開催 7.江東地区分会研修会講師謝金 8.助産業務安全対策委員会の規約
第3回 理事会 2022年9月19日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談・コロナ陽性妊婦健康観察・寄

	り添い型) 5.マタニティフェスタ進捗状況 <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.東京都助産師会入札資格取得 2.南北関東地区ブロック研修会 3.マタニティフェスティバル 4.東京都助産師会医療安全管理指針 5.日本助産師会選挙
第4回理事会 2022年10月14日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談・コロナ陽性妊婦健康観察・寄り添い型) <審議事項> 1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.ホームページ「医療安全」ページの作成 3.医療安全管理室新委員承認
第1回運営会議 2022年12月3日	<審議事項> 1.専門部会・委員会の2023年度活動計画
第5回理事会 2022年12月3日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.いいお産の日イベント決算報告 5.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談・コロナ陽性妊婦健康観察・寄り添い型) <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.2023年度部会委員会事業計画・予算案 3.次期東京母性衛生学会幹事 4.コロナ陽性妊婦健康観察研究依頼
第2回運営会議 2023年1月21日	<報告事項> 1.専門部会・委員会の2022年度活動報告
第6回理事会 2023年1月21日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談・コロナ陽性妊婦健康観察・寄り添い型) <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.2022年度部会委員会事業報告 3.次年度事業計画 4.南北関東地区研修会 5.2023年度社員総会日程 6.妊婦健康診査業務委託契約
第7回理事会 2023年3月25日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業について(オンライン相談・助産師相談・コロナ陽性妊婦健康観察・寄り添い型) <審議事項> 1.会員・賛助会員の承認 2.2023年度予算(案)について 3.助産師相談 4.事務員賞与 6.いいお産の日イベント
第8回理事会 2023年5月17日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 <審議事項> 1.2022年度収支決算 2.通常総会審議事項 3.通常総会開催方法について 4.2023年度外国人両親学級 5.賛助会員募集・事務謝金

(2) 地区分会長会議(地区理事：荒慶子 清水幹子 戸塚麻美) すべてWEB開催

開催日	内 容
第1回 2022年7月23日	理事会報告 意見交換 ・ 災害対策委員オリエンテーション

第2回 2022年9月17日	理事会報告 意見交換 ・ いいお産の日イベントについて
第3回 2022年12月3日	理事会報告 意見交換・次年度予算案作成・適格請求書発行事業者登録番号に関して
第4回 2023年1月21日	理事会報告 意見交換 ・ 決算書類提出について ・ 伴走型支援について
第5回 2023年3月25日	理事会報告 意見交換・次年度の事業計画などについて

(3) 専門部会事業報告

【助産所部会】

担当理事：青柳三代子 委員長：齋藤吏香 副委員長：一之瀬浩美

委員 篠井沙織 柴亜希子 野口としの 松井絢子 吉田樹里

目標：新型コロナ感染予防対策に重点をおきながらも、助産所の業務が遂行できるよう支援していくとともに、新たな委託事業への積極的な実務参加をしていく。

活動報告・評価

- ①助産所部会集会を開催し情報交換をおこなった
 - ②委託研修会（1回）10/15 新生児の最新知見 盛岡一郎先生
 - ③安全管理研修会（1回）→DIV ルート確保の実践を11/18に実施2回目を2/3に実施
 - ④委員による対面とZOOMでの安全管理評価→30箇所期限までに終了。
 - ⑤各医療連携会議への参加、医療連携に関する書類作成及び連携助産所の確認
 - ⑥各種医療連携会議への参加と情報交換
 - ⑦助産所部会委員会のあり方に関する検討
- 委員会の開催 5回 その他委託講習会等についての会議を2回実施
- 各種医療連携会議
- * ハンズの会 * 葛飾日赤連携会議 * 日赤医療センター連携会議 * 周産期医療協議会
 * 周産期搬送体制検証部会（東京都主催） * 多摩地域周産期連携会議
 * 医療情報に関する理解促進委員会

【施設勤務部会】

担当理事：大谷紗弥子 委員長：水村友香

委員：相沢澄子 赤山美智代 岩田敦子

目標

- ①助産ケアの充実を図るための研修会の開催
- ②助産師としてのモチベーション強化を図るための研修会の開催
- ③他部署との連携強化
- ④施設勤務部会会員情報の把握と会員のニーズの把握

評価：

- ①今年度、新生児管理に関連した安全管理研修会は企画できなかった。来年度はキャリアアップ研修と抱き合わせで再開していきたい
- ②助産師のキャリアアップ研修は2～3月に企画していたが、日程調整ができておらず来年度は年度初めに企画し、開催していきたい。キャリアアップ研修は、若手会員の獲得を目指した内容で企画しているため、引き続き開催に向け進めていきたい
- ③委託講習会を通して、研修テーマのニーズの把握ができた。来年度に向けて、ニーズに応じたテーマで研修会を企画し、ニーズに応えていきたい

委員会開催 3回開催

【保健指導部会】

担当理事：大坪三保子 委員長：牧野好恵

委員：伊藤敦美・板橋知子・古川純子・井澤郷子・秋山仁恵・武田雅子

目標

- ①部会員の保健指導に関する知識を深め、技術向上を図る。
- ②部会員の職務上必要な自己評価の機会の定着。
- ③部会員の活動状況の把握
- ④部会員のニーズに応じた活動の推進。
- ⑤部会員の増員に向けての活動

評価

- ①委託講習会のアンケート結果ではすべての講座で受講者の満足度は高く、疑問点が解決、講義内容が具体的、最新の知識取得、これからの母子ケア実践につなげたい、職場でも共有して役立てたいという感想が寄せられた。
- ②ヒヤリハットの報告、グッドジョブの報告に関して、今年度は日本助産師会調査はなし。
今後安全対策委員会で検討されている方針に協力して内容を検討していく必要がある。
日本助産師会からの依頼への協力「プレリリース安全管理評価表」の試用期間における活用調査に協力した。返答までが短期間であり、回答が少数であった。
会員自身の業務や活動を安全管理の視点で振り返り、安全に助産師業務が遂行できるよう、安全管理評価表の活用に向けて、周知方法及び、必要性和協力の呼びかけについて検討する。
- ③日本助産師会からの「保健指導部会員への活動調査依頼」内容に合わせて、google フォーム利用し、保健指導部会独自のアンケートを作成、集計、調査結果を報告した。
今年度、いいお産の日イベントについては保健指導部からの出展ができなかった。
活動調査アンケートより、様々な形で活動されている会員がいることがわかり、スキルや強みを活かせる場の一つとして、いいお産の日イベントへの協力の呼びかけを計画の早い段階から会員に周知するなど会員が協力しやすい働きかけを工夫したい。
- ④委託講習会アンケートより
乳幼児の発育発達・赤ちゃんの頭の変形・早産児低出生体重児の退院後のフォローアップ・産後ケアリラクゼーション・グリーフケア・赤ちゃんの睡眠・小児の発達障害
妊娠産褥期の不快症状へのケア・更年期、不妊治療・乳がん、子宮がんなどの女性のがん・地域連携について（病産院、助産所や、保健センター、児相、地域の子育て活動の方々など）・開業にまつわる税務関連の話を分かりやすくしりたい」の要望があり、今後の講習会の計画の情報を得た。
- ⑤日本助産師会の調査協力の活動の中で、委員活動への興味の有無を確認でき1名増員できた。

委員会開催 2回

【総務総括委員会】

担当理事：赤山美智代 岩田敦子 委員長：村田淳子

委員：石村あさ子 北目利子 長塚美代子 山本弥生

目標：総会の運営が円滑に行えるようにサポートする。

各表彰の推薦事業がスムーズに行われるようにサポートする

評価：推薦事業は、理事会、地区分会長、事務局の協力のもと概ね円滑だったと思われたが、東京都医療功労賞が受賞に至らなかったことは、今後の候補者の推薦について考察することが必要だと思う。

2022 年度表彰受賞者（敬称略）

- ・日本助産師会会長表彰
片岡弥恵子 佐々木美幸 阪本幸絵 早瀬千文
- ・永年活動感謝状受賞者
鈴木幸子 高橋淳子 若林節子
- ・厚生労働大臣表彰：北目利子
- ・東京都功労賞：加藤巴子
- ・特別功労者表彰 廣瀬綾子 佐々木美よ江

委員会開催 5回

【広報委員会】

担当理事：荒慶子 委員長：二村文子

委員：中友里恵、伊藤敦美、斎藤典子、高橋裕見、西川直子、高橋一紗（産休）

目標：本会の活動や情報を、会員、母子とその家族、社会に幅広く発信する

評価

①Tokyo サンバ通信は、年3回（8月、12月、3月）で配信した。

トピックスと他記事の内容が被らないようにできる限り配慮した。東京都助産師会の部会や委員会の活動や会員の活動などを主に掲載している。

②メルマガは毎月10日配信。サンバ通信配信月は、臨時便がでる。また配信を急ぐ場合などは、臨時便を配信した。

③賛助個人会員向け講座 6月から毎月1回（計10回）

賛助個人会員32名、単発参加者10名（12月講座まで）オンラインでの開催は遠方でも参加できることが会員獲得のきっかけにもなった。

④SNSの活用 Facebook、Twitter、Instagramにて情報発信。依頼があれば、配信（不定期）

⑤ホームページについて下記ページを一部リニューアル

助産師 Map→「助産院・助産師を探す」

「命の授業・性教育」講話依頼 安全管理に関すること 賛助会員

委員会開催 6回

【政策提言委員会】

担当理事：赤山美智代 委員長：佐山理絵

委員：清水幹子 横川峰子 青柳三代子 代表理事 専務理事 常務理事

目標：要望書の作成 東京都保健局との交渉 要望書陳情活動 各地区分会の要望活動の推進

評価：東京都助産師会の令和5年度の政策要望書を作成し、計画通りに東京都各政党に要望書提出した。

各地区分会からの要望を聞き作成する要望書に反映し内容を深めることができた。

要望事項

1. すべての出産を経験する女性が、産前産後のケア・支援サービスを利用できるよう支援されたい。また、地域で母子を支援する助産師の参画が推進されるよう区市町村に周知を図られたい。
2. 助産所における安全で安心な分娩を支援されたい。
3. 安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現するために、地域や施設で活動する助産師の能力の向上にむけた取り組み推進されたい。
4. NICU等入院児の在宅療養への円満な移行及び退院後の安定した生活の継続のために、母親への支援において、地域の助産師の活動を推進されたい。
5. 妊婦向け助産師オンライン相談の予算を令和5年度以降も継続されたい。
6. 中学校・高校における助産師による包括的性教育の実施を推進していただきたい。

日時	要望先	参加者	備考
8月19日	東京都福祉保健局	4	

8月26日	都民ファースト	3	
9月12日	立憲民主党	2	
9月13日	自由民主党	3	
9月13日	公明党	5	
10月7日	自民党本部	3	国家予算要望
11月25日	東京都知事小池百合子氏	7	

【教育委員会】

担当理事：伊藤仁子 委員長：阿部直子

委員：石川祐香 池田真弓 井野川渚 大瀧悦子 大谷紗弥子 桑原さやか 甕満奈美

目標 ①東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営を行っていく

②NCPR の物品貸出し

評価 ①東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営

- ・昨年度はオンライン講座のみ行ったが、東京都からの意見もあり急遽、対面講座を行うことになった。今後も対面とオンライン両方の講座を行うことを条件に年 30 万ほど予算が増額された。
- ・5 講座の対面講座のうち、対面に適したものと、オンラインに適した講座があった。来年度は対面講座に適した内容の講座を選ぶ必要がある。
- ・昨年度のウェビナーを経て今年度のミーティング開催。ミーティングの方がスタッフ側も受講者側も慣れていて昨年度より不安少なくスムーズにできたと思われる。
- ・新委員が 4 名入り、委員会内で協働しあった。

②NCPR の物品貸出し

- ・今年度 6 月に貸し出し規定を作成し事務局側で貸し出しの対応を行った
- ・4 件の貸し出しがあった
- ・来年度は規定の見直しをしていく

委員会開催 6 回開催

2022年度 東京都委託助産師教育指導講習会 プログラム

	開催日	会場	開催時間	講座テーマ	講師(敬称略)
第1回	9/1 (木)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	コロナ禍における免疫力向上について	傳統醫學研究所 日色鍼灸院 院長 日色 雄一
	9/10 (土)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	更年期	日本赤十字社医療センター 第一産婦人科部長 木戸 道子
	9/17 (土)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	出生前診断(検査) 遺伝相談における助産師の役割	NTT東日本関東病院 看護主任/遺伝看護専門看護師 御手洗 幸子
	9/19 (月・祝)	ZOOM	9:00 ～ 12:00	助産師だからできる妊産婦の精神的ケア	こころの診療科きたむら醫院 助産師 羽田 彩子
			13:30 ～ 16:30	周産期のボンディングとその障害 ～助産師による支援のための基礎～	城西国際大学看護学部 教授 大橋 優紀子
	9/28 (水)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	首都直下型地震の被害想定を読み解く ～災害時母子支援における想定外を減らすために～	放送大学富山学習センター 客員教授 棚座 圭太郎
第2回	10/7 (金)	東京都 助産師会館	9:30 ～ 12:30	産後ケア事業の運営とケアの実際	世田谷区立産後ケアセンター センター長 永森 久美子
			13:30 ～ 16:30	HDP,GDMの病態と治療	東京都立墨東病院 産婦人科医 部長 兵藤 博信
	10/15 (土)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	新生児医療の最新知見	日本大学医学部小児科学系小児科学分野 主任教授 森岡 一朗
	10/20 (木)	ZOOM	15:30 ～ 18:30	新しい女性の包括的健康支援について	対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座 理事長 産婦人科医 対馬 ルリ子
	10/29 (土)	ZOOM	9:00 ～ 12:00	中絶はそれを必要とする人のためのヘルスケアです ～尊厳に満ちた選択のために～	RHRリテラシー研究所 代表 塚原 久美
			13:30 ～ 16:30	政策提言の戦略と実際 助産師の将来・展望について	日本看護協会 常任理事 井本 寛子
第3回	12/3 (土)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	子どもの発達を促し、親子の結びつきを高める おもちゃの選び方	NPO法人子どもネット八王子 おもちゃコンサルタント 理事長 河村 こず恵
	12/6 (火)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	乳腺炎	みやした助産院 院長 宮下 美代子
	12/14 (水)	ZOOM	9:30 ～ 12:30	子どもの睡眠について助産師が知っておきたいこと ～子どもの睡眠外来を通して～	東京ベイ・浦安市川医療センター CEO(管理者) 神山 潤
	12/15 (木)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	子どもの食べる力を引き出す離乳支援	たつのシティワーククリニック 診療所長 田角 勝
	12/19 (月)	東京都 助産師会館	13:30 ～ 16:30	産前産後の理学療法的な知識と実践	文京学院大学保健医療技術学部 理学療法学科 理学療法士 布施 陽子
	12/21 (水)	ZOOM	13:30 ～ 16:30	口唇口蓋裂児の授乳支援 母乳育児が可能になるために	関西国際大学保健医療学部 教授 松原 まなみ
第4回	2/6 (月)	ZOOM	14:00 ～ 17:00	ガスケアプローチ	ガスケアプローチ公認指導者 助産師 大野 芳江 ガスケアプローチ公認指導者 理学療法士 瀬戸 景子
	2/9 (木)	東京都 助産師会館	9:30 ～ 12:30	オキシトシンを手がかりに周産期ケアを創る	聖路加国際大学 学長 堀内 成子
			13:30 ～ 16:30	DV防止教育から見た人間関係	デートDV防止教育ファシリテーター 助産師 橋本 初江
	2/13 (月)	ZOOM	9:00 ～ 12:00	乳児の成長・発達の観察ポイントと保健指導	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科医長 和田 友香
			13:30 ～ 16:30	メンタルヘルスが気になる妊産婦との対話ポイントと 助産師ができる支援	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター 科研費研究員 三田村 康衣
	2/25 (土)	ZOOM	9:00 ～ 12:00	無痛分娩における助産師の役割	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院 助産師 今井 晶子

【いのちの教育委員会】

担当理事：清水幹子 委員長：工藤有里

委員：板橋知子 岩佐寛子 大田静香 柴亜希子 菅井徹子 代田佳恵 棚木めぐみ 森下恵理子
牧野好恵

目標

- ①会員が包括的性教育における学びを深め、最新知識の習得、技術の向上を図る機会を提供する。
- ②「生・性（いのち）を語るエデュケーター」について会員への周知活動を行い、認定者の増員を図る。
- ③「生・性（いのち）を語るエデュケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大。
- ④「生・性（いのち）を語るエデュケーター」間の交流の充実。
- ⑤性教育等の最新の情報を収集し、会員に情報提供する。

評価

- ①講習会企画実施し、最新知識の習得や技術の向上を図ってきた。
- ②生・性（いのち）を語るエデュケーターのマニュアルの見直しをして、手続きや申請方法の簡便化を目指して、改訂のたたき台を作成中であり、2023 年も継続活動中。
- ③生・性（いのち）を語るエデュケーターによる包括的性教育の実施は、2022 年度は 25 件であった。
- ④生・性（いのち）を語るエデュケーターの交流会やメーリスやライングループなどを通して情報共有をしている。
- ⑤性教育件数 幼稚園・保育園 6 件、小学校 10 件、中学校 4 件、高校 4 件、その他 1 件
（東京都助産師会に依頼のあったものに限る）

研修会

開催日	研修会	講師	参加者数
7 月 31 日	子どもたちに安心を届ける性教育を考えよう	土屋麻由美	34
1 月 22 日	スウェーデンのユースクリニックの実際とユースフレンドリーなヘルスケアを考える	福田和子	44

委員会開催 6 回

【医療安全対策室】

室長：山本智美 委員：岩井紗貴子 今井晶子 由利沙織 舘入祥子 五十嵐由美子
星野雄子（助産所部会） 板橋知子（保健指導部会）

【助産業務安全対策委員会】

担当理事：宗尚子

委員：代表理事 専務理事 常務理事 財務理事 三専門部会理事 医療安全管理室代表

顧問：五島丈裕

目標：助産業務安全対策の体制確保等を行う

評価：①異常報告・転院報告について安全管理室からの報告を受け、対応について検討した。

②適宜ヒアリングを行い、助産所部会と連携し、適時に対応できるよう努めた。

③医療安全管理指針、助産業務安全対策委員会規定、医療安全対策室規定を作成した。

④東京都助産師会ホームページに「安全管理に関すること」のページを作成した。

⑤インシデント・アクシデントレポート提出の準備をした。

⑥インシデント・アクシデント講習会開催（3/10）講師 安全対策室長 山本智美氏

委員会 6 回開催

【災害対策委員会】

担当理事：戸塚麻美 委員長：名嘉眞あけみ

委員：北七子 田中佳子 榎本裕子 熊谷典子

目標：各地区分会の支援活動計画の整備を促進する

地区分会と委員会の連帯を促進する

評価：各地区分会に1～2名の災害対策担当者を新設したことで委員会との連携をしやすくなり支援活動計画を進めるにあたりその理解度が深まったという観点から概ね目標は達成できた。

委員会 6回

【産後ケア推進特別委員会】

担当理事：大坪三保子 委員長：岡津愛子

委員：江坂まや、佐々木美幸、齋藤有紀子、山田静江、一之瀬浩美

目標：地域において助産師による産後ケア事業の質の維持のための評価表活用準備

評価：2021年度に作成した評価表（文献検討で作成し、項目や表現について検討済）のベースをもとに、再度、項目や表現について、協議を行った。そして完成した評価表の信頼性・妥当性を図るため、東京都内で協力が得られた産後ケア施設で調査票を配布。現在分析中。目標に沿って、活動遂行できており、分析結果をもとに最終版が完成する予定である。

委員会 5回開催

子育て女性健康支援センター

電話相談 毎週火・木曜日 10:00～16:00 相談件数 135件

いいお産の日イベント

- ① 文京地区分会：ZOOMでママサロン（おしゃべり会）
- ② 八南地区分会：インスタライブ（育児相談）：対面講座（妊婦体験、その他）
- ③ 新中杉地区分会：対面講座（だっこ）
- ④ 東大和東村山地区分会：映像配信（防災訓練）
- ⑤ 施設勤務部会：映像配信（リアルお産劇）（当日のみ視聴可）
- ⑥ 助産所部会：映像配信（助産院での自然分娩）（当日のみ視聴可）
- ⑦ オンライン助産師相談チーム：映像配信（事業紹介）
- ⑧ 松ヶ丘助産院：対面とオンライン併用講座（楽健法）
- ⑨ 新野さん：映像配信（イギリスで活躍する日本人助産師の話を聞く）

オンライン助産師相談

2022年4月1日から2023年3月31日まで東京都委託事業として実施。相談件数 1,296件

寄り添い型支援

2022年新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援業務委託 依頼なし

コロナ陽性妊産婦自宅療養健康観察事業

2022年4月1日～2023年3月31日 東京都委託事業として実施。

延べ23,754日の健康観察を実施

東京都助産師会 Youtube チャンネルへの動画投稿

2021年に引き続き動画教材の作成と公開を行った。 配信動画数 105本 チャンネル登録者 7,190人